

研究者の横顔			
フリガナ	マキノ ユウキ		
お名前	牧野 祐紀	助成金額	150 万円
ご所属	大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学		
研究テーマ	膵癌超早期治療開発を目指した細胞外小胞と腫瘍組織の網羅的分子プロファイリングに基づく膵嚢胞性前癌病変の病態進展機構の解明		
1：研究者になろうとしたきっかけ			
<p>消化器内科医として臨床研修に従事していた時期に、治すことのできないがん患者さんを多く診てきたことで研究に興味をもつようになり、がんの研究者になろうと決めました。</p>			
2：助成研究の内容紹介			
<p>膵癌は前癌病変とよばれる癌の一手前の段階を経て発生します。そのうち膵管内乳頭粘液性腫瘍という前癌病変は、袋状の構造（嚢胞）をしているため、超音波検査などの簡単な画像検査で見つけられます。膵管内乳頭粘液性腫瘍は一般人口の数パーセントに認められる頻度の多い病変ですが、この病変が癌に進行する原因はまだよく分かっていません。この研究では、膵管内乳頭粘液性腫瘍が膵癌に進行する原因の解明を目指します。</p>			
3：2の将来に繋がる結果予想・目標			
<p>本研究によって膵管内乳頭粘液性腫瘍が膵癌に進行する原因を明らかにできれば、その原因に対する治療薬の開発に繋がります。現在のところ膵管内乳頭粘液性腫瘍には有効な治療薬がありませんが、治療薬が開発されれば癌になる前から治療を始めることができ、将来的には膵癌を予防できるようになる可能性があります。</p>			
4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ			
<p>この度は、本助成を頂き誠に有難う御座います。 増加の一途を辿り最大の難治癌とされる膵癌の克服に繋がる成果を得られるように努めてまいります。</p>			